



音楽運動



日本音楽協会 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3丁目10-15 富士ビル505号室 発行人 松本敏之
TEL 03-3221-1821 FAX 03-6369-3057 URL <http://nichionkyou.org> Email nichion@yomogi.or.jp

沖縄音楽祭の開催可否は感染状況みて8月9日に判断

7月10日 日音協全国代表者会議

日音協は7月10日、インターネット上で2021年度全国代表者会議を開催しました。14支部の代表（日音協幹事を兼ねている支部役員を含む）と自治労音協の代表が出席しました。

会議は坂口副会長を議長に選出。幹事会を代表して松本会長は、「感染症でさまざまな行動、集会が中止になり、サークル活動も制約される中でも、東京電力福島原発事故から10年、リモートミュージックミーティング、日音協のインターネット音楽会2021、5・3憲法大行動など、工夫してきました。今年の音楽祭は沖縄で開くこととしているが、緊急事態宣言が8月9日までに解除され、おおむねステージ3未満になるのであれば開催できない。来年の音楽祭についても議論を」とあいさつしました。

経過を確認した後、第53回はたらくものの音楽祭の準備と感染症対策方針を議題にしました。開催に積極的な発言もありましたが、練習もままならない中、積極的になれないという発言が多く支部からありました。8月9日に幹事会を開催して、感染症の状況により開催の可否を判断するという幹

事会提案通り決定しました。

次に、第54回はたらくものの音楽祭について、「2022年9月に茨城県内で開催することとして、準備を始めます」と提案があり、茨城県支部市川支部長が、「水戸市内のザ・ヒロサワ・シテイ会館（旧茨城県立県民文化センター）小ホールを9月2日、3日、4日で仮予約している」と発言。提案通り決定しました。

当面の取り組みについては、各ブロック合宿、日音協ソング2021の募集、日音協のインターネット音楽会2021、インターネット新企画「音楽を創るということ」、被爆76周年原水爆禁止世界大会、さよなら原発集会、イットク・フェス2021、全国アコニストのつどい2021について提案され、それぞれ取り組んでいくこととなりました。

日音協第58回定期総会の開催については、沖縄で音楽祭が開催できるかどうかにより、12月18日または11月13日に、対面とリモートとの併用（ハイブリッド方式）で開催することにしました。

その他としては、音楽祭の現状と今後のあり方について、日音協ソング2022の選考方法などに

ついて、会員の入退会の状況など、報告を受け、また意見を交換しました。

【主な発言は次の通り】

■北海道 2月に支部総会を書面開催。3月ブルーバンド退職記念コンサート。FMカンパニーCDをつくっている。プービーのRMでも集まった。沖縄音楽祭はぜひ開催してほしいが、各支部の状況は理解する。日音協ソング2021は9月15日締め切りでは早すぎる。日音協ソングは今後、創作を中心に担ってきた先輩方にも選考をお願いしては。

■青森 月1回の支部の練習または演奏会も、感染症で途切れがちながら続けている。

■秋田 12月以後、支部の活動はないが、原発事故10年やRMなど日音協全国の取り組みに参加している。

■若手 メールやLINEで連絡はしているが、集まること自体が怖いという人もあり、集まることできない。練習していないので11月に音楽祭は厳しい。

■福島 原発事故10年では、集まることができないながらもICTで会員に参加してもらって動画を撮った。動画づくりのノウハウ

をまなびたい。音楽祭の演奏時間に不公平は感じないが、経費をお互いに負担し合うという趣旨は理解する。

■茨城 月1回の練習を継続。全港湾組合歌を練習して、労組にはたらしめたい。

■千葉 ミールも新京成も感染症を心配して集まることできない。ひとりで「なのはなユニオンキャラバン」に参加。録音や録画のノウハウも必要。音楽祭の演奏時間が長くて気になったことはないが、お金のことは心配。日音協ソングは、1票投票は面白かった。今は、歌集をつくってくれていることが重要。

■東京 事務局会議を月1回。メーデーでうたはなかったが、メーデー合唱団は3月、4月、6月に集まり、音楽祭に向けて練習している。都支部も選曲をして音楽祭に向けた練習はできるが、辺野古新基地建設反対の仲間たちと連帯できなければ、開催の趣旨は中途半端になる。音楽祭の演奏時間はトータルで時間があるかということ（2面トータル）

全国代表者会議以後、感染が急激に拡大し、緊急事態宣言の地域が拡大、期間も延長されました。

この事態を踏まえて、日音協は8月9日に幹事会を開催し、11月の音楽祭（沖縄）の可否を判断いたします。会員・読者のみなさまのご理解をお願いいたします。

新潟の音楽を届けたい 第5回新潟県支部総会報告



挨拶する板井支部長

2021年6月6日、柏崎市文化会館アルフォーレ大練習室で第5回新潟県支部総会を開催しました。板井、今村、竹内、山田、山本(英)(す)の6人が参加しました。

冒頭の板井支部長あいさつ要旨は次のとおりです。①少しずつ新型コロナウイルスの姿が見えてきて、対策も取られてきたところに、変異ウイルスが拡大し始めている。②県支部活動が思うようにできなかったが、日音協としてはSNSやリモートでの活動を取り入れている。③それに戸惑いも感じるが、ワクチン接種が進めば1年以内には以前の活動レベルに戻れるのではないかと期待している。…

活動報告においては、会計処理の仕方についての議論に時間を割いたため、方針議論の時間が短くなってしまいましたが、次のような意見が出されました。

延期が続く北信越ブロック合宿について、新潟で開催することを前提に調整・準備をしていくこと。秋以降県支部での練習再開可能なのではないかと、県職労と仲間たちのコンサート等に向けて集まろう。インターネット音楽祭等の取組についても参加検討してはどうか等。

最後には参加者全員でインターナショナルを歌い、総会を締めました。

沖縄音楽祭については、色々な思いがあり、みんなで参加しようという雰囲気にはなかなかありませんが、全国の仲間へ新潟の音楽を届けるため、やれるところで活動を重ねていきたいと思えます。(山本英二)



竹内さんの指揮でインターナショナル合唱

(1面からつづく)
とを中心に考えるべきで、ペナルティはなじまない。日音協ソングは応募曲を歌集にしていることが重要。幹事会が選考することに抵抗はない。

■新潟 地公労確定闘争集会、自治労の旗びらき、県職労大会、自治労大会、県職労と仲間たちのコンサートで演奏。集まることに恐怖はない。RMMはミーティングとコンサートは違うということを意識してはどうか。音楽祭は、6分がいいか適した時間を検討したうえで、時間に応じた負担はあっていい。

演奏時間の公平感というが、許容範囲内ではないか。

■富山 2月に支部総会で、事務局次長を2人補充。3月さようなら原発集会。トモ&シゲも施設と連携してうたを届ける。ししの子は沖縄音楽祭に向けて練習しているが、音楽祭の夜の交流もできないとすれば私は積極的になれない。日音協ソングはもう選考しなくてもいいのではないか。

■香川 4月のメーデー県祭典で開会前にうたごえ、定番曲に加えて福島の海洋放流に抗議して『ラブ地球』。平和友好祭や反核平和の火ではうたごえは取りやめに。

■九州 ニュースだけは配っている。会員2人が退会の予定。

■沖縄 昨年12月笑顔笑顔のクリ

スマスコンサート、3月連合那覇南部地協の集会で演奏。明日、那覇市議選が終われば音楽祭の準備と思っていたが、感染症が緊急事態宣言で、本当にできるのか不安。幹事会の決定には従う。

■自治労音協 音楽祭の演奏時間は決まった時間を決まったように守ってやってほしい。8分にして尺に収まるかも問題。日音協ソングの選考には、音楽祭開催県の人にも参加していただいては。

(松本敏之)

※全国代表者会議の翌日、第9回幹事会をリモートで開催しました。代表者会議の振り返りと、今後の日程・予定の確認をおこないました。(佐藤康弘)



日音協全国代表者会議
2021年7月10日
zoomミーティング

全国代表者会議へズーム参加の皆さん(1面に載せる予定でした)

日音協ソング2021募集について

日音協は、「みずからを表現する運動」「つくり・うたい・ひろめ・つなぎあう、四つの活動」として、一貫して創作を重視し、創作活動を推進するために毎年日音協ソングの募集と選考、紹介をしてきました。とくに昨年来、感染症が拡大し集会が中止／延期になり、ライブハウスは休業、集まっての練習も困難な中、改めて創作に力をいれようと呼びかけます。日音協ソング2021は引き続き日音協幹事会の責任で、応募曲の中から全国に広めたいうたを選考し推薦曲を決定して、第58回総会に発表することにします。9月30日を応募締切にしますので、新曲を積極的に応募されるようお願いいたします。あわせて、この応募曲の動画を日音協のインターネット音楽会2021にお寄せいただきたく、お願いいたします。日音協各支部、各労組音協、各サークル、会員の積極的な応募を要請いたします。

1 対象

- (1) 歌詩のついた音楽とし、詩だけ、曲だけの応募は受け付けません。みんなであたえる歌、というような限定はしません。
- (2) はたらくものの音楽祭ですすでに演奏されたことのある曲は対象にしません。
- (3) 詩または曲の作者である日音協会員が応募することとして、会員ひとり2曲までとします。
- (4) 日音協会員以外の方がつくった作品の場合、日音協支部の推薦が必要です。1支部につき2曲までとします。

2 応募方法 (1)(2)(3)のいずれかとします。

(1) 歌詩つきの楽譜

日音協事務所に送ってください。

(2) 音源

CD、カセットテープなどの媒体か、電子ファイルとして、日音協事務所に送ってください。

(3) 音源つき動画

DVDなどの媒体か、電子ファイルとして、坂口副会長あて送ってください(媒体の郵送の場合とダウンロード先URLを指定する方法の場合は日音協事務所あても可能)。

3 締切り 2021年9月30日(水) 24:00まで

4 応募曲と幹事会推薦曲の公表

- (1) 応募曲はすべて楽譜集にして『音楽運動』号外の形で、日音協会員と機関紙読者にお届けします。
- (2) 応募者には、応募曲を動画にして日音協のインターネット音楽会2021で公開することにご協力いただきたく、お願いいたします。応募者の意に反して公開することはありません。
- (3) 応募曲の中から、日音協幹事会の責任で全国に広めたいうたを選考し推薦曲とします。日音協第58回定期総会で披露し、日音協機関紙『音楽運動』に楽譜を掲載するとともに、2022年の第54回はたらくものの音楽祭で演奏していただきます。

5 応募作品等の提出先

(1) 動画の提出先

担当は坂口副会長ですが、メールアドレスは日音協または各支部事務局にお問い合わせください。

(2) 動画以外の提出先は日本音楽協議会

事務所所在地 101-0061東京都千代田区三崎町3

丁目10-15富士ビル505号室

ファックス 03-6369-3057

インターネットメール nichion@yomogi.or.jp

日音協のメール受信サーバーは割り当て容量が小さいので、動画データファイルや音声データファイルは、メール添付ファイルでなく、データ便などダウンロード先URLを指定する方法としてください。

データ便 <https://www.datadeliver.net>

ミサゴの空(仮タイトル)

曲・編: ごとう雅裕

落ちてくれるな オスプレイ (仮題)

詩: 佐藤康弘

人の庭先 考えず
我が物顔に 飛び回る
勝手な屁理屈 ならべ立て
迷惑千万 何者ぞ
低空飛行の オスプレイ
土埃(ほこり)を巻き上げ オスプレイ
うるさい うるさい オスプレイ
落ちてくれるな オスプレイ

鷹の目ミサゴを 標榜し
神出鬼没に 飛び回る
垂直飛行に ホバリング
(水)しぶきを巻き上げ オスプレイ
欠陥機体の オスプレイ
操縦大変 オスプレイ
うるさい うるさい オスプレイ
落ちてくれるな オスプレイ

※歌詞付けなどはまだですがどうですか、と後藤さんに送りましたが、ウーンとうなっていました。幹事2人が関わっていますので日音協ソングへの応募は控えたいと思います。(佐藤)

おだかすや公演 魂の指揮官 ネルソン・マンデラのたたかい

7月27日、おださんから公演の案内が届きました。7月28日、20時からの公演とのこと。

「私が我が運命の支配者。我が魂の指揮官。南アフリカに自由をもたらしたマンデラのたたかいを描く。」「27年に及び拘束に耐え、出獄後南アフリカの大統領になったネルソン・マンデラ。彼のたたかいを描きます。」と載っていました。
作・演出・出演：おだかすや（日本音楽協議会） 1000円

40分におよぶ一人芝居（でいいのかな？）でした。アパルトヘイト下での黒人解放運動を経て、「白人も黒人も共にうたえる歌」（劇中のセリフ）として、1997年に大統領令として国歌に制定したそうですので、調べてみました。

この歌は「神よ、アフリカに祝福を」と「南アフリカの呼び声」という2つの曲をひとつの曲に編曲したようです。

ラグビーの試合の際の映像を見て、なんか聞いたことのある曲だなと思って探したら、「神よ、アフリカに祝福よ」は「コシ シケレリ アフリカ」として『うたのひろばV』（P48～P50）に載っていました。

以下、引用です。

（佐藤）

南アフリカの国家は、国家統一を願って、なんと5ヶ国語で少しずつ歌われます。コサ語、ズルー語、ソト語、アフリカーンス語に英語です。多民族国家の理想の形が現れてとても素敵であると思います。過去に争いがあった民族の固有の歌から一節ずつを切り取ってつなげたものです。

（南アフリカ共和国公式HPより）

<南アフリカの国歌の歌詞の日本語訳>

第1節（コサ語）

神よアフリカに祝福を与えたまえ
その誇りを取り戻させたまえ

第2節（ズルー語）

われらの祈りを聞きとどけたまえ
われらに祝福を与えたまえ
われらアフリカの同胞なり

第3節（ソト語）

神よわれらの国に祝福を与えたまえ
戦いも争いも追い払いたまえ
われらの国を守りたまえ
われらの国、南アフリカ、南アフリカ

第4節（アフリカーンス）

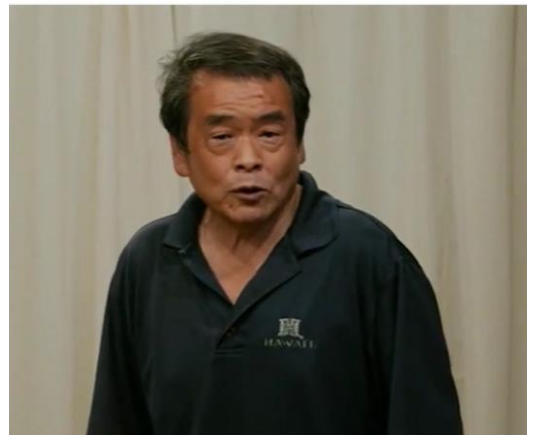
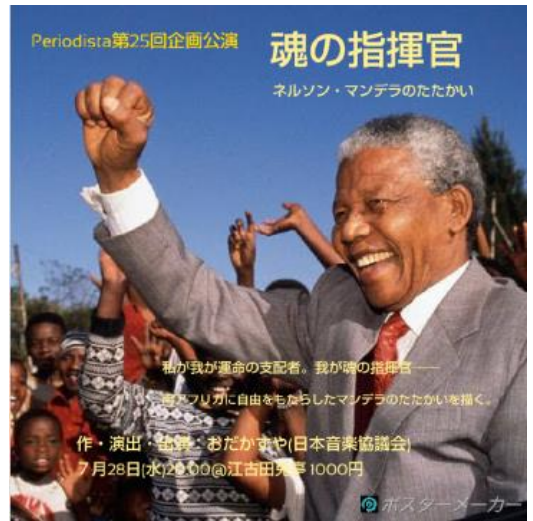
青き空の彼方から
深き海の深淵から
永遠不滅の山々の
切り立つ峰々にこだまする

第5節（英語）

ともに来たれと呼び声が響く
われら一つになりて立ち上がらん
われら自由を求めて生きん
南アフリカ、我が祖国



「でも、一年半くらい会ってない人がいる。代わる企画はないか？」となり、プービーのコンサートじゃないが、ズームで合宿コンサートできないかな、となった。自宅で大声で歌えるかなという声もあったが企画してみることにした。
さっそく5人でLINEグループを組むことになり、大嶋さんは「お暇です」と名乗ることとなった。
（佐藤康弘）



東北北ブロック合宿の開催

今年は見送りました

7月22日、東北北ブロック合宿実行委員会をズームで開催しました。

参加者は、秋田（後藤雅裕、大嶋忠男）、岩手（佐藤幸子、高橋円）、青森（佐藤康弘）の5名でした。

今年の開催県の大嶋さんの進行で、各県の状況把握をした結論は「今年の開催はナシ。来年は9月頃、同じく秋田県で開催する。」となりました。

全国アコニストのつどい2021 アコニストのためのドック

2021年第3回「全国アコニストのつどい」を呼び掛けます。昨年からのコロナ禍の影響でなかなか集まること自体が難しくなっているなか様々な工夫で活動を続けておられることと思います。会場が貸別荘となったため宿泊費を上げざるを得ませんでした。自らが「音楽する」ことに重点を置き一年間の活動を見直し交流をする中でより発展をしていくためのきっかけとなる「ドック」のようなつどいにしたいと考えています。

- とき 2021年9月24日(金) 15時～
9月26日(日) 12時閉講
※会場の空予約の関係で今回は日程をずらします。
- ところ さつき会館
静岡県伊東市湯川6-686-1
JR最寄駅：JR伊東線・伊東駅からタクシーで5分
TEL：0557-37-6353
- 費用 42,000円 参加費=17,000円、
宿泊費25,000円(2泊5食)、交流会費含む
- 講師 窪田聡氏
- カリキュラム 右上参照
- 申込先 参加申込書(別紙で用意しています。問い合わせ願います。)*遅れても必ず提出のこと
- 送り先 〒264-0029
千葉市若葉区桜木北2-2-2-319 岩藤範雄
043-235-2580(電話/FAX兼用)
E-mail可(様式は適宜)
n.iwatou@gmail.com または
iwatou@mar.email.ne.jp まで
- 費用 *必ず前納のこと(「全国アコ協」名義です)
 - ①銀行振込=中央労働金庫・大手町支店
(285) 1802101
 - ②郵便振替=00180-0-368267
※銀行からの振込時は
金融機関コード：9900
店番：019 当座：0368267
お氏名/ゼンコウ-デ イワサキ 加
 - ③現金書留=参加申込書送り先と同じ[岩藤 範雄]
- 申し込み締切 9月6日(月) 必着
FAX、Eメールでも可
- 参加のしおり 参加申込書到着次第送ります。



以前の合宿の練習風景

	カリキュラム
第1日 9月24日(金)	14:00 ●受付開始
	15:00 ●自選曲演奏&公開レッスン
	16:30 ●コードアレンジ法
	17:00~19:00 入浴・休憩
第2日 9月25日(土)	19:00 ●交流宴会① ※窪田聡のDVD上映
	09:00 ●新しい曲に挑戦
	10:00 ●個人練習
	昼食(伊東市内)
	13:00 ●コードアレンジ法
	14:00 ●個人練習
第3日 9月26日(日)	17:00~19:00 入浴・休憩
	19:00 ●交流宴会② ※窪田聡のDVD上映
	09:00 ●仕上げ練習
第3日 9月26日(日)	10:00 ●成果発表
	11:00 ●閉講式
※1<自選曲>は2週間前の9月10日までに講師あてに送付すること。 送付先=岡山県瀬戸内市牛窓2227-8 鈍工房 (FAX送付はしないでください) ※2<成果発表>は自選曲・新しい曲から1~2曲を選んで演奏する。	

視点拝借③

五輪に思う文化・芸術

—後藤正文の朝からロック—

朝日新聞 2021.7.28

東京オリンピックの開会式が終わった。

冒頭のプロジェクションマッピングの演出を見ると、振付師のMIKIKOさんが演出責任者を辞任するに至った経緯が頭を過ぎり、いたたまれなくなって画面から離れた。

ふと、2028年の開催地がロサンゼルスであることを思い出す。そこで行われる開会式では、映画や音楽だけでなく、様々なアーティストが前面に立ち、自由と多様性を掲げて人々を勇気づけるのだろう。諸手をあげて称賛するわけにはいかないが、アメリカの文化とエンターテインメントの底力を思う。

東京では招致の段階から、政治家だけでなく組織委員会や広告会社の姿が前面に出た印象がある。オリンピック自体が巨大な商業広告であり、権威主義の象徴のように見えた。無観客でなければ、開会式には様々な組織のなかで力を得た人たちが参列し、お互いの名誉を称え合うためのセレモニーと化していたのではないかと想像する。

文化や芸術は、商業広告や権威の添え物ではない。しかし、隷属的な役割を慎重に拒み、独立してきただろうか。そうした問いを、誰を批判するでもなく、自分自身にこそ向きたい。

何の添え物でもなく、アスリートたちの躍動が続いている。彼らの姿を免罪符とせず、オリンピックにまつわる諸問題について、考え続けたい。

(ミュージシャン)

水道橋だより

▼日音協のインターネット音楽会2021で、6月20日に Remote Music Meeting vol.2 に出演なさったブービーバンドの演奏をご紹介しましたが、ブービーバンドから、もっと鮮明な録画があるというご連絡があり、差し替えました。日音協ホームページからYouTubeに挿しこみ/リンクを張っていますので、一度ご覧になった方も改めてご覧ください。<http://nichionkyou.org/>



▼YouTubeを配信するにはどんな機材が必要か? ネットで調べてみました。基本的にはスマホがあればできるようですが、①撮影用カメラ、②三脚、③マイク、④照明、⑤パソコン、⑥動画編集ソフト、といったものが挙げられていました。▼では何をを選ぶかといったときには、詳しい人に相談するのがいいようです。例えばソフトは高価なものほど良いと考えがちですが、ツールがたくさんあっても、使わなければ意味がないので、必ずしもそうではないようです。チャレンジしてみてもいいかがでしょうか。(佐藤)

▼織田さんの公演を見ました。ネットでチケットを購入したのですが、カード決済というのがまだ慣れず? ここでクリックして変なところに行かなきゃいいなんて躊躇しながら操作してます。(佐藤)

歌の力が物語るもの99

菜葉坂つた行動7/9 (427回) 報告 Rico

【参加者】なべさん、モリヤさん、イサさん、ようこさん、モッチー、タツ、森 計7名

地下鉄の駅を出たところで合羽を着こんで菜葉坂に向かう。家を出たときには曇りだったけど、やっぱり降ったな。菜葉坂では他のみんなもせつせと雨支度を整えていた。雨のなかでも集まるうたの仲間。

『あたりまえの地球』『水に流すな』と、歌い始めた。続いて『大きな橋』はモリヤさんからのリクエスト。前回楽譜を渡した。「良い歌だね。勝手にあちこちで歌わせてもらってる」。歌は歌ってこそ歌。菜葉坂でもちゃんと歌詞カードに

入れてみんなで歌いたい。『フクシマをくりかえすな』、原爆反対と沖縄返還にむけた『夾竹桃のうた』、季節ものの『たなばた』そして『月桃』。

東京はまたもや緊急事態宣言に突入する。オリンピックのために早々解除したのにやっぱり元の木阿弥。思えば昨年4月、一年延期を決めたときにそれまで隠していた感染者数が急増でいきなりロックダウン発言。そのあとも、常にオリンピックと政局のために行動と解除が繰り返されてきた。で、結局緊急事態宣言のまま無観客開催。このために強いてきた自粛と我慢は、政府への怒りと変わる。

今回の西村発言。補償もないまま店の営業に制限を『要請』し、応じないところには金融機関や取引業者から働きかけてと『恫喝』を勧める。(西村発言は早々に撤回されたけど、脅して言うことときかせようという本音がばれちゃったね。菅総理は言う『補償を前倒ししてもいい』いや、何か月も前から振り込まれていないそうですか? まずそれを早く出せよ。「国民の生活を守る」なんて口ばかり! 辺野古の基地にはじゃぶじゃぶ税金投げ入れられてくせにさ! と『沖縄今こそ立ち上がろう』と『座りこめこへ』が続く。

雨はやまない。合羽の中で体が蒸れている。歌詞カードは濡れてしまうので、できるだけ暗記している曲を選んで歌った。そして最後、歌詞カードを見ながらでも歌いたい、と、リクエストは『声よ集まれ歌となれ』。



(何年前の写真です)

朝鮮学校への差別に声を上げながら、「聞こえないふりに傷つけてかすれる叫びはあてどなくそれでも誰かと歌いたいたんだ。一人の声では届かない声よ集まれ歌となれ」。歌詞をかみしめて歌う。とも歌う者でありたいし、求め続ける者でありたい、強く思う。

どん行

(145)

飯島貞親

薄気味悪い。道はいつか来た道とそっくりで。選手への賛美報道はメダル獲得日、リ抜け落ち、連

▼「低コスト大会」をうたい文句に招致したはずの東京五輪。現実にはすでに3兆円以上の金を使い、無観客でチケット収入はほとんどなく、想定した収支は大きく狂っている。国や自治体などは五輪の収支決算を開示し説明することができないのだろうか▼五輪はついに開催されてしまったが、事前には開催への賛否が分かれ開催に否定的な声や慎重論が優勢だった。政府は世論に関わらず、まず開催ありきでことを進めた。内閣支持率が危機的水準に下がる中で秋には選挙をせざるを得ず、これを乗り切るにはフクチン接種と五輪で国民のムードを盛り上げるということが不可欠だった。国民世論が冷ややかな中でも、開催してしまえば、日本選手の活躍に国民の気持ちが盛り上がり踏んでいるのだらう▼五輪の本来の精神は消え去り、「カネと政治」による開催であることを国民の前にさらしてしまった。IOC会長は「ぼったくり男爵」の称号を与えられ、関係者の人選、報酬では政府に近い一部の人が優遇され、甘い汁を吸うことも明るみに出た。もはや「復興五輪」の性格は跡形もなくなった▼そんなことは頭の中からスッポリ抜け落ち、連